

特講(子どもの貧困)		単位数	履修方法	配当学年
		1単位	S	1年以上
科目コード	AT1027	担当教員	池上 和子	

※2017年度の開講予定は未定です。開講する場合は『With』や『試験・スクーリング情報ブック2017』でご案内します。

■スクーリングで学んでほしいこと

日本では子どもの6人に1人が貧困状態にあり、子どもの貧困の問題が社会的にも大きな関心をもたれるようになってきている。子どもの貧困はたんに経済的な乏しさ、物質的な不足のみならず、多くの子どもたちは親の離婚や失業、疾病などいくつもの逆境状況におかれている。こうした多重逆境の子どもたちの現実を、児童養護施設の入所児童の現状と課題を理解し、多重逆境の子どもたちの福祉臨床的支援のニーズと目的を学びます。

■到達目標

- 1) 多重逆境の視点を通して子どもの貧困の現状を理解し、それをふまえて児童養護施設などの社会的養護の子ども背景と課題を理解することにより、福祉臨床的な支援の必要性と目的を学ぶ。
- 2) 多重逆境が子どもの心理や発達に及ぼす影響と具体的事例を学び、支援の実際や支援者の機能や役割について理解する。
- 3) 多重逆境の子ども自立のための課題について考えることにより、子どもが貧困や多重逆境から脱却可能にするための支援や社会のあり方について学ぶ。

■スクーリング講義内容

※以下の講義内容は2016年度のものです。

回数	テーマ	内容
1	多重逆境としての子どもの貧困	虐待保護・児童養護施設・保護者・家族
2	多重逆境の子どもの背景	親の離婚・家庭破綻・心を病む親の問題・親との離別・死別
3	多重の喪失と分離	養育の連続性の混乱や破綻・親のDV・反社会的行動・疾病による心理的影響
4	二重の剥奪状況	早期剥奪・ネグレクトの影響・環境の剥奪状況と心の剥奪状況・心理的課題
5	ネグレクトと教育の問題	考える機能の傷つき・心理的困難と学習困難・自尊心と将来展望
6	多重逆境からの自立の課題	実親との心理的課題・教育と職業選択・自立に必要な支援
7	まとめ・質疑応答	

回数	テーマ	内容
8	スクーリング試験	

■講義の進め方

スクーリングにあたり、当日、資料、文献等を配付し使用します。

■スクーリング 評価基準

- ・授業への参加状況50%およびスクーリング試験50%
- ・試験は単に知識の有無の確認ではなく、スクーリングで学んだ内容をふまえたうえで、問題テーマについて自分自身の見解の論述を問います。

■スクーリング時の教科書

- ・以下の教科書は必ず持参してください。

池上彰編『日本の大課題 子どもの貧困－社会的養護の現場から考える』ちくま新書、2015年

※教科書はスクーリング受講料納入者に送付します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～20時間）

教科書の第4章、5章、6章、7章を読んで受講ください。さらに第1章から3章までもおおよそでもいいので目を通しておくと、より理解しやすくなります。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

福祉・教育・医療の現場における子どもと保護者・家庭を取り巻く社会状況に多重逆境の視点から心理社会的課題について考え、福祉実践者が担う役割や可能性について学び、理解を深めてください。

■参考図書

- ・M. シュタイン著 池上和子訳『社会的養護から旅立つ若者への自立支援』福村出版、2015年
- ・J. J. ヘックマン著 古草秀子訳『幼児教育の経済学』東洋経済新報社、2015年